

【第2特集】 丹羽療法レポート2 今年もインフルエンザの季節 予防接種は有効か

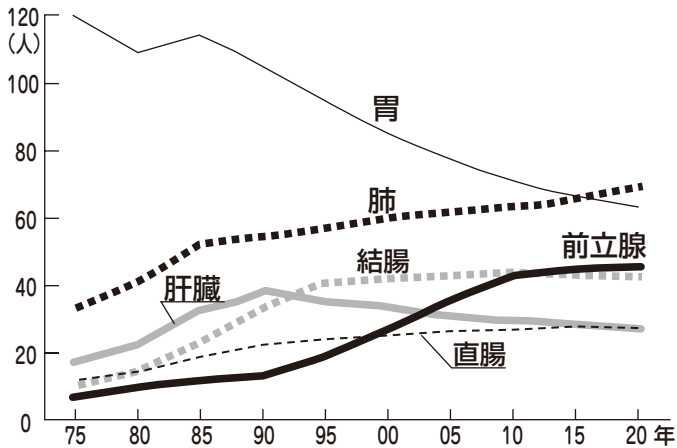
特集 丹羽療法 治療レポート

男性は50歳になったら必ず検査を
増え続ける
前立腺がん

日本SOD研究会報

発行元 日本SOD研究会 藤沢
住 所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/sod>

男性の各がんの人口 10 万人あたりの患者数



(年齢調整罹患率、2020 年までの予測。がん・統計白書 2004 から)

がん統計白書によると、10 年後に多いがんの予測順位は、1 位「肺がん」2 位「胃がん」3 位「前立腺がん」となっています。なかでも前立腺がんは'00 年比の倍、総患者数は 7 万 8 千人にものぼると予測されています。

とつては気になるがんといえます。症状は、尿が出にくい、尿の回数が多い、排尿後の残尿感がある、夜間の多尿、尿意切迫（尿意を感じるとトイレに行くまでに我慢できな状態）、下腹部不快感などです。検査の結果、前立腺がんと診断されても、転移がない場合の症状は、前立腺肥大とほとんど変わらないとか。がんの中では比較的小さな部類なのです。

ですから、早期発見などでみつかったがんを過剰に治療しなくても、放つておいても寿命に関係ない場合が多いそうです。しかし、このがんを手術などで摘出したり、放射線照射で消滅させたりすると、副作用で尿失禁や性功能障害になります。

そんななか、早期がんからおとなしいがんかどうかを見分け、治療を待機する「PSA 検査」(※注1)というのが注目されています。

今回は、高齢化社会到来とともに増加が予想される、この前立腺がんについて丹羽先生にお話を伺いました。

手術をする と

一生おむつ生活

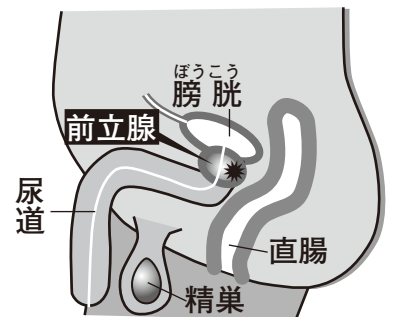
——前立腺がんが10年後には肺がん、胃がんに次いで、がん患者の3位になるという結果が出ています。この男性だけがかるがんというのはどのようなものなのでしょうか。

「まず、がんの手術云々という話をしておく。私は、常日頃、普通のがんの場合、抗がん剤治療なんていうバカな事はやめろ、手術で取りきれるといふ条件のもとでなら手術をしたほうがいい、と言っています。なぜ取りきれるといふ条件かという、がん細胞というのは、一部だけ切り取って、残りを傷つけたままで残しておく、と爆発して四方八方に散るわけだ。例えば胃がんが肝臓にへばりついてるがん。これは取っても取りきれない。なぜなら肝臓という臓器は一部だけ切り取ることができないから。切ったら出血多量で死ぬから。そうすると、開腹手術しても開けたただけですぐに閉じる。

肝臓に限らず、とにかく取りきれないのなら取らないで開腹のみというのは医学界の常識。よく、取りきれないで一部のがんを残して抗がん剤をバンバンやる医者があるが、これは言語道断。とんでもないこと。

婦人科のがんなどは、お産のときに開腹してから卵巣がんがみつかることがある。爆発してはいけないと思つて取ろうとするんだが、婦人科のがんはものすごくやわらかいから、取ろうと思つてちよつと引つ張り上げたら破れることがある。そうすると腹膜の中にがん細胞がバーンと飛び散ってしまう。これを腹膜播腫という。だから、がんを取るときはよほど気をつけないといけない。取りきれないものを残しちゃいかん。ましてや残して抗がん剤なんでもつてのほか。ところがこの常識の例外がいくつかある。そのひとつが前立腺がんなんです。あと食道がんもそう。まだ手術でバンバン取る医者がいるけれど、基本は取らない。

前立腺がんを手術で切ると、お



しつこが自力で出せなくなる。そうすると垂れ流しになり、おむつ生活や。後がやっかいなんだ。だから普通、手術はしない。また、食道がんは、取ると一生、ラッパみたいにブーブー鳴る人工喉頭をつけなければいけない。

いつも言っているように私は抗がん剤は完治するのなら使うけど、ほとんどが苦しんで死ぬだけだから使わない。

ところが、食道がんは今、抗がん剤と放射線をやると治るんです。だから切ったらいけないんだ」

ホルモン療法と

丹羽療法で安定

——では前立腺がんは手術をしないでどんな治療法をするんですか。

「ホルモン剤をやる。男性ホルモンを押さえるホルモン剤があつて、これをやると20人中19人はうまいこといくな。それと前立腺がんはあまり死なない。胃がんや肺がんみたいにとんとんと来て、1年2年でポンと死ぬ、というようなことがない。治りきることもないけど、ホルモン剤を打って押さえていればわりと生きるわけ」

——転移なども少ないのでしょうか。

「少ない。もしも死ぬとしたら決まっている。何百人にひとりだけど、肺か骨に転移するという、非常に特徴的な転移をするんだ。骨の場合、前立腺と腰の骨の位置が近い事から、よく、腰が痛くなり、腰痛と間違えられてしまう。ちゃんとレントゲンを撮ると、骨のがんになつていたということがある。骨のがんの大元はどこかなと調べると前立腺にがんがあつたとなる。それくらいすぐに骨に転移する。前立腺がんは案外自覚症状がないから分かりにくいんだな。

しかし、骨のがんくらいでは痛

いけど死なない。死ぬのは肺に転移したやつ。でも、それは非常に少ない。だからこのがんは普通のガンよりは長生きする。ホルモン剤をやっているとだいたい4年くらいで効かなくなるので、そうしたら放射線と抗がん剤治療。そして最後に手術でいい」

——原因はどこにあるのでしょうか？

「僕のようにキリストかお釈迦様の生まれ変わりかと言われている、例えば、マリリンモンローが隣で裸で寝ていても指一本触れないような高貴な人間は（笑）前立腺がんにはならない。はっきり言って、すけべなおっちゃんがかかる病気。なんでもそうだけど、慢性刺激、使い過ぎがいけない。仮に前立腺がんにならなかつても、女性をピシヤリと断つと治る。生きていける」

——本当ですか？

「これホント。とにかく前立腺がんにかかる男性ホルモンの働きを抑えるために女性ホルモンを投与されるわけで、そうすると性欲が

なくなるんだな。女性が好きなおっちゃんはこの治療法をみないやがる（笑）。でも、4年間は手術をしなくても生きていける。ま、私の薬を併用していればだいたい5年から10年は大丈夫。4年で効かなくなることはない」



——発見する方法は？

「いちばんいいのはまずPSAというマーカーがあるので、その検査をすること。乳がんや卵巣がん、肺がんとかの普通のマーカーの該当確率は90パーセントなんだ。残りの10パーセントくらいは実際のガンとマーカーが関連しないんだ。

ところがPSAだけはパチンと一致する。100パーセント。このマーカーが悪かったら間違いなく前立腺がん。

もうひとつ、人間とガンが共存して生きるのがこのガン。PSAマーカーが高くて、実際にガンが

>>> 健康博覧会 2008 のお知らせ <<< 丹羽先生が講演！

——健康博覧会 2008——

2008年2月27日～29日（10:00～17:00）
東京ビッグサイト（お台場） 入場料 2,000円

26回目となる今回は、丹羽耕三医学博士の講演が29日の11時から12時40分までイベントステージで行われることが決まりました。この機会をお見逃しなく。

あつても、何も治療をしなくても生きている人もたくさんいる。これも他のガンに見られない前立腺がんの特徴」

——では、ガンになっていることに気づかないこともあるということですね。

「あるね。多いね。だから使い過ぎで、尿が近い、尿を失禁すると言う人は絶対に検査をしたほうがいい。特に要注意だね」

——よくある健康診断でPSA検査は組み込まれていますか？

「ないねー。これだけ前立腺ガンが増えてきているのだから絶対にやらないかね。PSAでパチンと判明するのだから。子宮がん、乳がん検診と同じように男も50歳を過ぎたら検査は絶対にやったほうがいい。使い過ぎは40歳からやれと（笑）。血液検査で済むから。それで本当に死ぬのが怖くなって使わなくなるとPSA数値がどうなるかと言うと、まず、7くらいまで上昇して横ばいになる。完全に使うのをやめて1、2年くらいすると下がりだすんだ。人間と共存するんだ。だからガンの中では言ってみれば組しやすいな。なんといっても自分でコントロールできるのがいい」

——SODも効果があるのでしょうか。

「もちろんある。発ガン原因の活性

酸素を抑えるから、そりゃ飲まないよりは飲んだ方がいい。これは前立腺がんに限らず、すべてのがんと同じ事が言える」

※注1 PSA検査

前立腺がんを発見するきっかけとなるひとつの指標。値が血液1mlあたり4〜10^{ng}/mlがグレーゾーンと言われており、その場合には20〜30%にがんが発見されます。PSA値が10^{ng}/mlを超えると50〜80%にがんが発見されます。

10^{ng}/mlを超える場合には前立腺がんが強く疑われ、さらには転移も疑われます。この検査は前立腺がん検査としては最も有用と考えられています。

(前立腺がん診療ガイドライン'06年 日本泌尿器科学会編)

◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

丹羽メディカル研究所

0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

03(5787)3498

まで お電話ください。

丹羽療法レポート2

今年も インフルエンザの季節 予防接種は有効か

冬になると毎年、インフルエンザの流行が気にかかります。冬場はどうしても空気が乾燥し、のどの粘膜を防御する機能が落ちるためにウイルスが吸着しやすくなっています。

流行の期間は通常11月下旬から翌年の春頃までですが、今年は沖

縄で夏からインフルエンザが流行し、10月下旬の段階で、全国で同時期0.1人なのに対し、5.7人もの感染者数にのぼっています。

原因は、地球温暖化の影響で亜熱帯型の流行パターン化していることがひとつ。もうひとつは、クーラー等により室内が低温、乾

燥しているためだそうです。確かに台湾や香港などの熱帯地域では室内の冷房温度が異常に低く設定されています。そう考えると、暑い沖縄でインフルエンザというのも納得できます。

このインフルエンザ、風邪の症状と似ているために重症化するまで病院に行かないことが多く、お年寄りや乳幼児などは死亡にもつながります。普通の風邪の症状は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみ、咳などが中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほどは高くなく、暖かくして発汗することで熱は下がります。

しかし、インフルエンザの場合は、38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて風邪と同様ののどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発し、重症化することがあるのもインフルエンザの特徴です。

また、昨年はインフルエンザに感染したあとの治療法で、特效薬

治療には必要に応じてタミフルが処方されますが、患者さんからの希望や医師の診断でタミフルを飲む必要がないと判断し、タミフルを服用せず治療する場合もあります

さて、このインフルエンザの予防ですが、最も効果的とされているのが流行前のワクチンの予防接種です。そこで、今回、ワクチン接種について丹羽博士にお話をうかがってみました。



「そもそも予防接種というのはインフルエンザならインフルエンザ、日本脳炎なら日本脳炎のウイルスを、能力を落としてちよつと入れるんだ。それを弱毒化と言う。例



例えば1000くらいあるウィルス
を1くらいに薄めて体内に入れる
わけ。1000全部が入ってくる
と大変だけど、1くらいなら、体
がそれに対して抵抗を作ろうと

しかし、気をつけなければなら
ないのは、生まれつき抵抗力を
作ることができない人がいるこ
と。膠原病や末期がんの人なども
抵抗力を作る余裕がないから、そ
ういう人にインフルエンザの予防
接種をしたら、ウイルスを例え
1000分の1に薄めても本当の
インフルエンザになってしまう。

もうひとつ気をつけなければならぬ人は、ステロイドを長期に飲んでいる人。こういう人も抵抗力がなくなっているから、インフルエンザの予防接種はしてはいけない。もしもやったら本当のインフルエンザになって死んでしまう」――なるほど。ステロイドを長期に飲んでいる人、膠原病、末期のがん、難病で重症の患者さんなどは予防接種はしないほうが良いということですね。あと、お年寄りも気をつけた方がいと聞きますが、どうなのでしょう。

——インフルエンザのウィルスにはいろんな形があるとか。その年々で流行が違う場合、ワクチンも違ってくるのでしょうか。

「いや、今のワクチンは、WHO（世界保健機関）からの情報や日本国内の流行情報などをもとに次年度のワクチンを作るから、3種類くらの混合ワクチンになっているんだ。だからたいていのインフルエンザにも対応できるんだね」

とうことですから、インフルエ
ンザにかからないために、まずは
予防接種。次に外出から帰ったら
必ず手を洗い、うがいをするこ
と。そして、加湿器などで室内
を乾燥しないようにすること。さ
らに十分な休養とバランスの取
れた栄養をとる、抵抗力を高め
ることで、抵抗を高めることです。



SOD様作用食品 愛飲者からの おたより

子宮内膜症・虚弱體質

◆ 丹羽先生に感謝！

長野県 28歳 女性 主婦

いつもお世話になってます！

お蔭様で、日常生活を普通に過ごせるぐらいの体調を維持しています。高校生ぐらいの時から、無理して動くと、すぐに疲れて寝込んでしまうぐらい、体が弱かったのですが、2年前より、SODを1日2包、飲む様になってからは、疲れや痛みを感じるもののそれでも主婦として家事や育児をこなせる様になりました。

る様になりました。

感謝してもしきれません！

ありがとうございます！

丹羽先生とSOD様食品に携わっている方々の健康と幸福を祈つてやみません。

子宮内膜症の方は、SODにプラス、生ワカメやめかぶを食べる様になったら出血も少なくなり、悪化はしていないように思います。
.....

成人ステイル病（注1）

◆ 良好

東京都 73歳 女性 主婦

生まれつき胃腸、骨も弱く、子供の頃から年中、リンパ腺と扁桃腺が腫れていました。

69歳から急に手も足も動かなくなり、内臓の調子も悪く、CTで調べていただいたところ、成人ステイル病らしいと言われました。

ステロイドを使用し、動くようになりしましたが、表現のしようのない辛さにみまわれました。オルニチン（注2）で多少動くのが早くなったように思われましたが、SODを飲み始めてから1ヶ月経た

ないうちにレイノー症状が無くなり、周囲の人たちが私の変化に気付き始め、頑固な主人までSODを飲むようになりました。

つい、みなさんに教えてあげたくなります。

（注1）成人ステイル病…発熱、関節症状、皮疹が3大症状である。典型的には、発熱は夕方から夜間にみられ、昼間は平熱であることが多い。関節痛は手関節や膝関節などにみられ、多くは関節の腫脹も伴う。皮疹は、発熱時にみられやすいピンク色の発疹で、かゆみなどの症状に乏しいため気づかれにくい傾向がある。そのほか、のどの痛みやリンパ節の腫脹もみられる。

（注2）オルニチンとは…アミノ酸の一種です。オルニチンには成長ホルモンの分泌を促進する働きがあるといわれています。成長ホルモンは筋肉や骨の増強に関係しており、基礎代謝も上げてくれます。褐色脂肪細胞を活発にして脂肪燃焼を直接に働きかけるのはアルギニンやオルニチンなどの数種類のアミノ酸だけです。肉や魚や大豆などのタンパク質に含まれている他のアミノ酸に比べ、オルニチンは食事から摂取しにくいアミノ酸です。オルニチンは、非必須アミノ酸・必須アミノ酸に属さない特殊なアミノ酸といわれています。

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しんでいる方たちが少しでも早くいい治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

SOD様作用食品とは・ 丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力を握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや成人病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が

存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。

それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。



開発した丹羽耕三医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めた。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。

開発には実に二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った。自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治療力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの。私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐清水病院院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです

丹羽療法を知る一冊

◆ブックガイド◆

「がん治療 究極の選択」

講談社

「丹羽SOD様作用食品摂取者の体験報告」日本SOD研究会

「活性酸素で死なないための食事学」

廣済堂

「丹羽博士の正しいアトピーの知識」

廣済堂

「天然SOD製剤ががん治療に革命を起こす」

廣済堂

「白血病の息子が教えてくれた医者の心」

草思社

「安心の医療・本当の健康」

みき書房

「クスリで病気は治らない」

みき書房

「医は仁術なり」

至知出版

「丹羽療法 全国のアトピー患者が信頼するこれだけの理由」

リヨン社

「SOD様作用食品の効果」

小冊子



あしたも元気 (No.96)

日本の食文化 ― 豆類 ―

豆類はマメ科植物の種子や果実として栄養を蓄えて繁殖するためのものですが、豆類にはたくさんの方々の栄養が含まれており、人間をはじめ多くの動物にとって古くから重要な食糧となっています。

また豆類の種子は、穀類と並ぶほど貯蔵性があります。

日本では特に大豆をさまざまな形に加工して、日本独特の食文化をつくり上げてきました。世界の大部分の大豆は主に油用(食用油、マーガリンなど)に用いられ、採油後の大豆はほとんど飼料や肥料として利用されていて、大豆を食用とするのはごく一部だそうです。

しかし日本では醤油や味噌、豆腐、納豆などに用いられ、これらは日本の食文化の代表と言えるのではないのでしょうか。

大豆にはタンパク質や脂質が多く含まれています。またカリウムが多く含まれています。そら豆や小豆などには炭水化物とタンパク質が多く含まれています。

大豆

昔から五穀の一つとして、また「畑の肉」として、動物性食品に代わる重要な食物です。タンパク質が非常に多く、大豆100g中に対して35.3gのタンパク質が含まれています。

また脂質も多く含まれていて、特にリノール酸と呼ばれる不飽和脂肪酸が多く含まれています。リノール酸にはコレステロールを低下させる働きがありますが、大豆に含まれる脂質のうちおよそ50%はリノール酸なのです。その他、ビタミンB1、ビタミンEも多く含まれます。

またレシチン、イソフラボン、サポニンなども含まれます。

大豆加工食品の栄養成分(100g中)

大豆	木綿豆腐	納豆	大豆	木綿豆腐	納豆
エネルギー(kcal)	417	200	417	200	200
タンパク質(g)	35.3	6.8	35.3	6.8	6.8
脂質(g)	19	5	19	5	5
ビタミンB1(mg)	0.83	0.07	0.83	0.07	0.07
ビタミンB2(mg)	0.3	0.03	0.3	0.03	0.03
カルシウム(mg)	240	120	240	120	120
カリウム(mg)	1900	85	1900	85	85

このように、大豆・豆腐・納豆を比べてみると特徴があります。大豆はタンパク質と脂質が多く含まれていますが、消化吸収が悪く、全部を消化することができません。しかし豆腐に加工すると繊維分がなくなり水分が多くなることで吸収されやすくなります。また木綿豆腐は凝固剤の関係もありカルシウムが多く含まれます。納豆は大豆と成分は似ていますが、納豆は納豆菌によって非常に消化吸収がよくなっています。また、納豆には骨形成作用をもつビタミンK2が豊富です。

小豆

北海道で生産されている「十勝あずき」や、兵庫県や京都府の丹波大納言・石川県の能登大納言が有名です。小豆の約80%は和菓子の餡や甘納豆に利用されています。餡は日本独特の食品だそうです。小豆の栄養成分は約60%が炭水化物、約20%がタンパク質、脂質は2%以下になります。

ZnO

日本で栽培されているそら豆のほとんどは野菜用の品種で、種実用は中国からほとんど輸入されています。

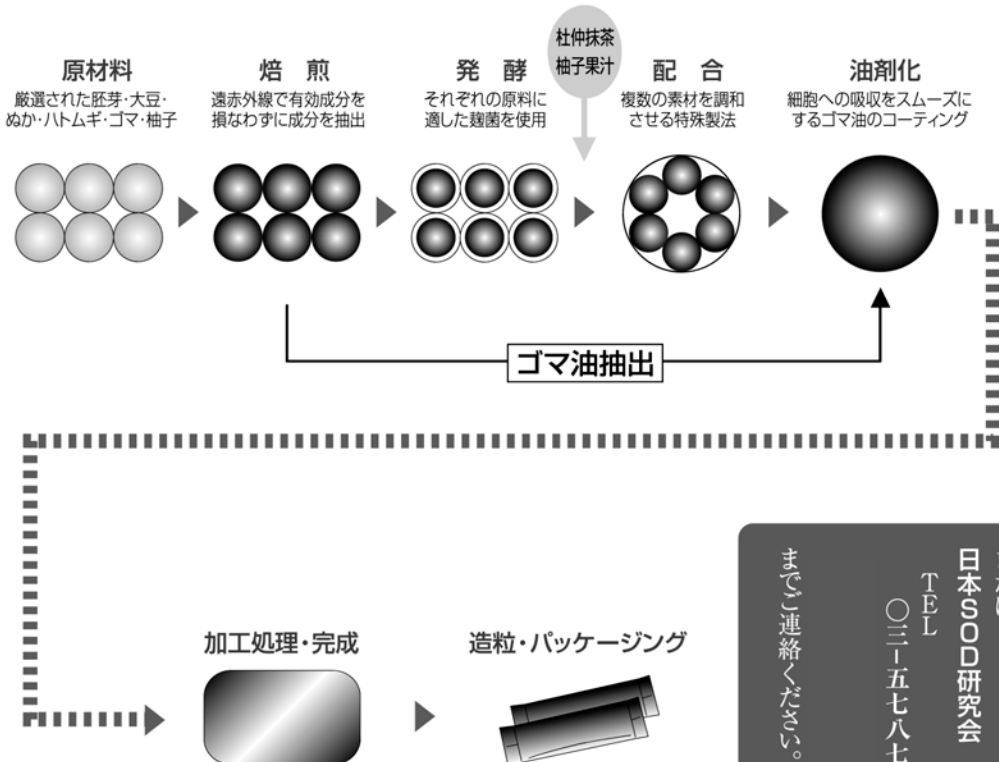
小豆同様、約60%が炭水化物、約20%がタンパク質、2%の脂質です。

◎豆類、特に大豆は非常に重要なタンパク源です。必須アミノ酸がバランスよく含まれていて、低コレステロールです。毎日欠かさず豆加工食品を摂取しましょう！

【栄養士 高橋広海】

SOD

様作用食品



バックナンバーについて

日本SOD研究会では、これまでに発行した「会報」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。

ご希望の方は、最寄りの取扱店または、

日本SOD研究会

TEL

〇三三五七八七―三四九八

までご連絡ください。